

# 市民協働事業提案制度 自己評価シート

平成 年度実施事業

平成 31 年 1 月 17 日

事業名	食品廃棄物削減講座 「ごめんなさいと捨てる食べ物をなくすために」
記載団体 / 担当課	富士友の会 / 環境部廃棄物対策課

## ※評価点（5段階）の基準

5点：（十分に達成）達成度80%以上 / 4点：達成度60%～79%

3点：（一部に問題はあがるが概ね達成）達成度40%～59% / 2点：達成度20%～39%

1点：（達成度が著しく低い）達成度20%未満

## ■（1）市民協働の観点から

評価項目	評価点	補足（評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など）
①目的は共有できましたか。	5	食品廃棄物削減という市の課題に基づいて講座の内容を考えていった。
②役割分担は適切にできましたか。	4	会場の予約、開催地区で回覧用チラシを町内に配布、広報ふじやごみへらしタイムズへの掲載など協力してもらった。効果的な集客の方法については、もっと意見交換があってもよかった。
③十分な意思の疎通が図られましたか。	4	不明な点は確認して進めることができた。
④対等であることを理解し、良好で持続可能な関係を築き事業を実施できましたか。	5	自由に意見を交換できる関係だった。毎回講習会後の反省会で互いの気づき、感想を言い合った。
⑤市民サービスの向上が果たせましたか。 また、相乗効果・波及効果が得られましたか。	4	参加者のアンケートから満足度は高く、講習会後に「実際にやってみました。」の声も届いている。6回とも平日の開催だったので、土・日にも開催して有職者の方達にも講座を聞いてもらえると良かった。

評価の流れ

自己評価シート

→ 相互評価シート

## ■ (2) 事業内容の観点から

評価項目	評価点	補足（評価点の理由や補足、成果・課題とその対応など）
①目的・目標は達成できましたか。	5	6回の講習会で合計183人のお客様が来られ、食品ロスを減らす意義や手立てについて伝えることができた。しかし、富士市のごみ削減の効果が現れるには、時間をかけ市民に繰り返し繰り返し訴えていくことが必要と思う。
②スケジュールどおりに実施できましたか。	5	予定通りにできた。
③-行政 事業の費用対効果はどうでしたか。 ③-市民活動団体等 提案事業実施にあたり事業費積算は妥当でしたか。	5	妥当だった。
④事業に対する「受益者（市民）の満足度」は十分に図られましたか。（受益者からの評価が分かる場合）	5	※受益者からの評価の方法と内容、または、評価できない場合はその理由など 参加者の満足度は高かった。すぐ家庭で実践できる一工夫について、写真や実物の展示を多くしたことで、わかりやすく、やる気を喚起できたと思う。

## ■ (3) その他、課題や改善方法など

○6回とも平日開催だったが、土・日にも開催できるとよかった。  
○毎回定員30人を集めることに苦労した。各まちづくりセンターや図書館にちらしを置いたり、開催地区でちらしを回覧してもらったが、参加者の多くは会員が実際にお誘いした人だった。会員が誘える人数には限りがあるので、効果的な広報の仕方をもっと考えていく必要があると思う。